

新庁舎建設候補地3次評価を実施

全会一致で「JR烏山駅周辺」を選定

6月28日(金)に第11回庁舎整備検討委員会が開催され、新市庁舎の建設候補地の選定が行われました。本音では、その内容をお伝えします。

これまで計10回にわたる庁舎整備検討委員会を開催し、「庁舎方式(本庁方式・分庁方式)のあり方」や「既存4庁舎(烏山庁舎・南那須庁舎・保健福祉センター・水道庁舎)のあり方」、そして新庁舎の規模などについて検討を行ってきました。また、新庁舎の候補地については、「総合計画との整合」「利便性」「将来性」の3つの観点から2次評価を実施し、「中央公園」「金井一丁目地内」「JR烏山駅周辺」の3か所に絞り込まれました。

そして、第11回検討委員会では、「経済性」「実現性」の2つの観点に基づく委員への事前アンケートの集計結果や市民の声を踏まえ、総合的な視点による3次評価を行った結果、全会一致でJR烏山駅周辺が候補地に選定されました。

■ 3次評価に向けた候補地に関するデータ

	中央公園	金井一丁目地内	J R 烏山駅周辺
面積	約 19,500 m <sup>2</sup> ※災害警戒区域を除いた場合 約 15,600 m <sup>2</sup>	約 7,400 m <sup>2</sup>	約 13,400 m <sup>2</sup>
土地所有	市有地	民有地	市有地および民有地
【経済性】 ①概算総事業費 ※1 ②国からの有利な財政支援措置(都市再生整備関連事業)の活用 ※2	①約51.6億円 ②用途地域に該当しない →現状では活用不可	①約44.7億円 ②用途地域に該当する →活用可	①約43.7億円 ②用途地域に該当する →活用可
【実現性】 ①庁舎や駐車場が配置しやすく利用しやすい地形であるか ②用地取得の見通し	①庁舎を南側に配置する必要があり、駐車場が南北に長くなる ①県条例に基づき東側崖地から一定距離を確保する必要あり ②道路整備のため民有地の用地買収が必要 →用地交渉未着手	①市道で敷地が分断されているところや周辺住宅地の生活環境に配慮した施設計画が必要 ②民有地の用地買収が必要 →用地交渉未着手	①県道に接道した形が整っている敷地で、効率的な施設計画ができる ①未整備の都市計画道路の検討が必要 ②民有地の用地買収が必要 →一団の土地を有する地権者と交渉中。買収に向けて理解を示してくれている

※1 概算総事業費：庁舎整備費(土地取得・移設補償費含む)に、庁舎整備に必要な道路整備費を加えた費用。  
 ※2 都市再生整備関連事業：都市の再生に必要な公共施設等の整備などを行う際に国から交付される交付金など。この支援を受けるには、都市計画法に基づく用途地域(その地域にどんな建物を建てるかあらかじめ決められている地域)に該当することが条件。

■ 2次評価および3次評価に向けた委員への事前アンケート集計結果

		中央公園	金井一丁目地内	J R 烏山駅周辺
2次評価	総合計画との整合(15点)	12点	10点	15点
	利便性(15点)	12点	7点	14点
	将来性(15点)	9点	7点	14点
3次評価	経済性(15点)	5点	3点	15点
	実現性(15点)	5点	0点	15点
合計(75点満点)		<b>43点</b>	<b>27点</b>	<b>73点</b>

■ 3次評価に向けた委員への事前アンケートでの主な意見

中央公園

- ・市有地が広い
- ・他候補地より事業費が高い
- ・敷地東側が土砂災害警戒区域に該当

金井一丁目地内

- ・有利な財政支援措置の活用が見込める
- ・用地取得の見通しが不透明
- ・敷地が道路で分断され庁舎建設の阻害要因になる

J R 烏山駅周辺

- ・他候補地より事業費が安い
- ・有利な財政支援措置の活用が見込める
- ・J R 烏山線の存続対策として絶好の立地

## ■市民の声

本市のまちづくりなどに関し、市民団体や関係機関による意見交換会が行われました。庁舎整備をはじめ、その他公共施設、将来における本市のあるべき姿などについて、参加した市民から数多くのご意見をいただきました。

### NASUKARA市民ミーティング

6月9日(日)開催

庁舎整備検討委員会の若手委員6名により結成された「なすからのまちづくりを考える若手有志の会」主催で、若手世代を中心に実施した市の理想像を問うアンケートの結果報告会が開催されました。報告会では、川俣純子市長が出席し、市民との意見交換会も行われました。



#### 市民からの意見

- ・吹奏楽の発表ができるホールが欲しい。
- ・J R 烏山駅前が閑散としている。駅前に若者をはじめ多世代が気軽に集まれる場所や施設があると良い。
- ・市民がスポーツを楽しめる交流施設がほしい。
- ・子どもが遊べる公園や、親同士が交流できる子育て施設がほしい。
- ・多世代交流ができる居場所づくりが大切。

### 「那須烏山市の地域振興(まちづくり)を考える」意見交換会

6月20日(木)開催

那須烏山市観光協会および那須烏山商工会の主催で、J R 烏山線の存続と中心市街地の活性化をテーマに、行政や市民団体を交えた市民との意見交換会が開催されました。



#### 市民からの意見

- ・J R 烏山線は観光的に非常に大きな資源。
- ・市庁舎は、J R 烏山駅前に整備するのが良い。この場合、土・日曜日にもコミュニティスペースとして有効活用を図ってほしい。
- ・老若男女がふれあえる場所や機会があることが重要で、ハードとソフトが連動する仕掛けが必要だ。
- ・J R 烏山駅東側の将来的な活用も視野に入れた検討を行うべきだ。

### 庁舎整備検討委員会 三橋委員長(宇都宮大学名誉教授)からのコメント

J R 烏山線を活用して庁舎に来庁する人はそう多くはないかもしれないが、自分で車を運転できない高齢者であっても、公共交通機関を使って来庁することができるという選択肢ができたことは大きいと考える。新庁舎がJ R 烏山駅の近くに整備されることで、市民にとって、電車という庁舎へのアクセス方法ができることは大きな利点であり、烏山市街地の活性化による賑わい創出や、J R 烏山線の利用向上へのきっかけになるなど、波及効果も期待できる。

合併を経た自治体にとって、庁舎建設の候補地を選定することは非常に難しい作業になる。各委員は居住地や立場の違いから、候補地に関する考えも異なると思料していたが、一つひとつ課題をクリアしながら慎重な議論を重ねた結果、全会一致でJ R 烏山駅周辺が候補地に選定された意義は非常に大きい。

今後は、これまで議論されてきた結果を反映した庁舎整備基本構想(素案)を作成するとともに、その他公共施設の再編・再配置の将来像を描いた「まちづくりのランドデザイン」の案をまとめ、市長に答申する予定です。

■問合 総合政策課庁舎整備推進室 ☎0287-83-1112  
Eメール: sohgoheisaku@city.nasukarasuyama.lg.jp



▲市ホームページ